

福井県越前市が、原子力防災ハンドブック「越前市原子力防災のしおり」を5言語で作成

福井県越前市には、ブラジル人3,848人を含む約4,900人の外国人が居住しています。これは、市の人口割合の約6.3%を占め、福井県内で最も高く、ベトナム人や中国人も数多く生活しています。(令和4年1月1日現在)

市内に原子力発電所はありませんが、日本原子力発電株式会社の敦賀発電所、関西電力株式会社的美浜発電所から30km圏内に位置していることから、市全域が原子力災害発生時の住民避難の対象となっています。

そのため、越前市では、外国人市民にも原子力災害に関する基礎知識や、原子力災害が発生した場合の避難行動(避難のタイミング、避難の方法、避難先など)を知ってもらい、いざという時に適切な行動をとってもらうための方策を検討してきました。

そして令和3年度、ポルトガル語、ベトナム語、中国語、英語の4言語に翻訳した「原子力防災のしおり」を作成しました。しおりには理解しやすいようにイラストやフロー図、チェックシートなどを盛り込んでいます。

しおりの「はじめに」では、

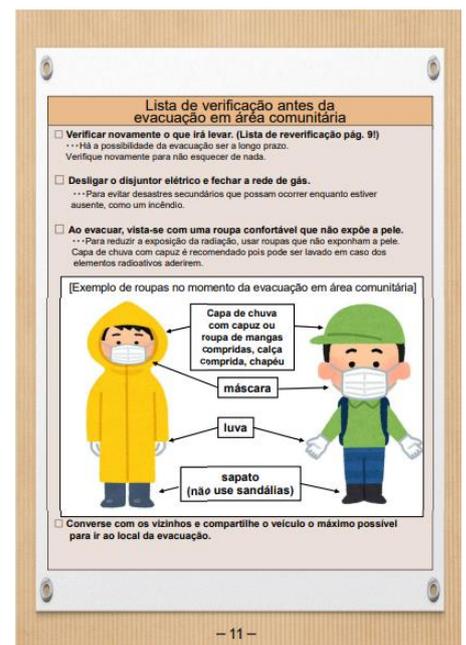
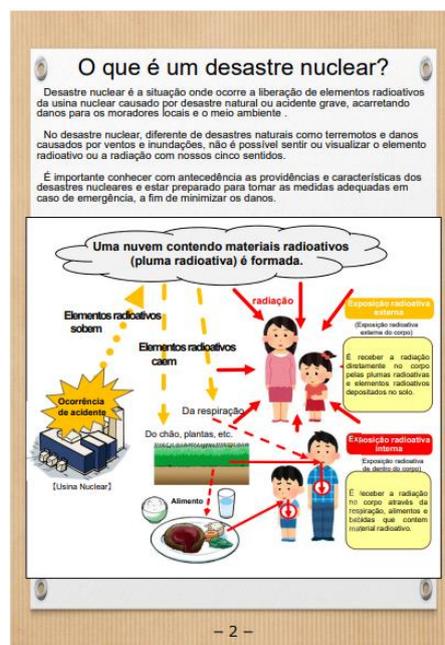
「原子力発電所では、自然災害や重大な事故に備えて、様々な安全対策がとられています。しかし、万が一、対策が機能せず、放射性物質が周辺環境に放出されれば、私たちの生活に影響が及ぶこととなります。

もしも、原子力発電所で重大な事故等が起こったら、私たちはどのような「行動」をとればよいのでしょうか？

越前市では、万が一の原子力災害に備え、避難のタイミングや方法、避難先など、皆さんに知っておいてほしいことをこの冊子にまとめました。」と、このしおりの内容などを簡単にまとめています。

具体的な内容は、「原子力災害とはどのようなものなのか」「放射線の基礎知識」「越前市と原子力発電の関係性」「原子力災害時にとるべき行動」「避難方法・避難先」「情報の入手先」などで、A5版のコンパクトサイズの20ページにまとめてあります。

しおりは、福井県の支援を受け、5,000部を作成し、令和3年10月に実施された福井県原子力総合防災訓練に参加した外国人市民や外国人のコミュニティでの自助共助の担い手である外国人市民防災リーダー、外国人を雇用する市内企業に配布しました。訓練の参加者には、しおりの他に原子力発電所の安全対策に関する資料、安定ヨウ素剤、スクリーニングに関する資料も外国語に翻訳し配布しました。



越前市防災危機管理課の担当者は、「外国人を雇用する企業の担当者からは、『多言語で作成してあるので、自社の外国人労働者にも渡すことができ、防災教育の一助になる。』、訓練に参加した外国人市民からは、『原子力防災という難しい内容を丁寧に教えていただき、避難方法について理解が深まった。知人にも配り、原子

力防災を広めたい。』との声をいただいた」と話しています。

今後について担当者は、「本市では、外国人のコミュニティや地域での自助共助の担い手として外国人市民防災リーダーを養成しており、現在25名を認定している。今後は、外国人市民防災リーダーとも協働して、外国人コミュニティでの防災活動を活性化していきたい。また、日本語版の製本を進め、原子力災害訓練などで日本人市民にも配布していきたい。」と話しています。

「越前市原子力防災のしおり」は、以下からダウンロードできます。

ポルトガル語版 (Português)

https://www.city.echizen.lg.jp/office/010/060/bousai/gensiryoku/genbou_shiori_d/fil/genbou_hbP.pdf

ベトナム語版 (Tiếng Việt)

https://www.city.echizen.lg.jp/office/010/060/bousai/gensiryoku/genbou_shiori_d/fil/genbou_hbV.pdf

中国語版 (中文)

https://www.city.echizen.lg.jp/office/010/060/bousai/gensiryoku/genbou_shiori_d/fil/genbou_hbC.pdf

英語版 (English)

https://www.city.echizen.lg.jp/office/010/060/bousai/gensiryoku/genbou_shiori_d/fil/genbou_hbE.pdf

問い合わせ先

越前市役所総務部防災危機管理課

電話 : 0778-22-3081 Email : seikatu@city.echizen.lg.jp